



第 51 号

千 町 田

のきの郷の将来を考える

副代表理事 山本 明

朝の気温が少しずつ下がりはじめ、だんだん秋めいてまいりましたこの頃いかかお過ごしでしょうか。組合員の皆様には平素よりのきの郷に対しご理解とご協力をいただきありがとうございます。

8月下旬より始まりました稲刈作業も天候不順などありましたが何とか順調に進んでいるところがあります。しかしながら8月には令和3年産米の価格が発表され予想通り値下げが決定いたしました。この状況が続くようであれば、のきの郷の経営も大きな影響を受けることとなります。その影響を少しでも回避していくためには、中期計画で提案している事業を推進していく必要がありま

す。その中の和牛繁殖事業については、JA全農のご協力を

要がありま



新しい事業や新しい栽培方法に取り組もうとする時には、心配な事や苦難な事がありますが、出来るとか出来ないとかの議論ばかりではなく、どうしたら計画が実現できるのかという議論が必要だと思



思います。そのためには、経験や知識を持つ人たちからの協力や助言が大切です。幸い地域内には経験豊かな方が多数おられますので、今現在それぞれの方面で助言いただいております。今後もしいろいろな場面で皆様のご支援をお願いすることがあると思

います。皆様のお力添えをお願い致します。

職場体験受入

のきの郷では、中学生の職場体験学習の受入れを行っています。7月1日2日は安来一中より2名、9月15日は安来一中より3名の生徒が職場体験にやってきました。2校の生徒とも主にトマト栽培の体験をしました。



安来二中の生徒はトマトの定植後のわき芽取りなどの作業、安来一中の生徒は



トマトの調整などの作業を体験しました。

中間監査会

8月22日(日)に上期事業報告ならびに中間事業監査が行われ、上期の事業報告と中間決算の報告を行いました。

監事には各事業について確認いただき、意見やアドバイスをいただきました。今後の事業活動に生かしたいと思



お知らせ

- 8月11日 静岡県中小企業団体中央会
- 8月31日 出雲園地区環境整備推進協議会
- 9月15日 安来一中職場体験
- 9月17日 能義小3年社会科見学
- 10月1日 能義小ウォークラリー遠足



田んぼの様子

ら、ミコトモチ、にこまるへと続いていきます。

乾燥調製施設も順調に稼働しています。

大豆は浸水のため一部を種の播き直しを行ないましたが、順調に生



8月下旬より稲刈りが始まっています。つや姫コシヒカリに続き、きぬむすめ刈取りを終え、あきだわ

育しているようです。キャベツは9月初めに定植を行いすくすくと育っています。草も一緒に大きくなってきたため、草取り作業も行われました。収穫は11月ごろから始まり来年4月ごろまで続きます。そばは今は花盛りです。白い花が一面に咲いています。菜種はようやくかわいい芽が出てきたところです。ハウスではトマトが最盛期を迎えています。12月まで収穫の予定です。道の駅などで順調に販売しています。イチゴは定植が終わりました。12月には収穫が始まります。

収穫するもの、成長するものいろいろあって田んぼはにぎやかです。



能義小ウォークラリー遠足

10月1日能義小学校のウォークラリー遠足を受入れました。歩いて地域を知ろうということで飯生町利弘町沢町の各所を見学したようです。子供たちと先生を合わせて80人ばかりを2班に分けて米の乾燥調製とまとうハウスを見学してもらいました。短い時間でしたが、地域を知りたい機会だったと思います。



神在月

出雲地方では10月を「神在月」といい、神々が出雲大社に集まり来年の縁組や作柄を決めると言われています。ほかの地方では神様がお留守になるので「神無月」と言われますが、本来は新穀で新酒を醸す月「醸造月」(かなみつき)、新嘗の準備をする月「神嘗月」(かなめつき)など一年の収穫を神様に感謝する月という意味があるようです。

お悔やみ申し上げます
利弘町 岩佐 敏明 様

ちよこし聞いて

あきだけなわとなりました。稲刈りが着々と進み、刈取り後の稲株が涼しそうになっている田んぼが多数みられるようになりました。秋の田んぼを見ると氏神様の秋祭りが思い出されます。この時期あちらこちらでお祭りの幟旗をみると、全く関係ない場所でも覗いてみたくてわくわくしたものです。そんな思い出が今の子供たちにもあるといいなと思います。(き)

